



学習会と第14回総会

みんなの教育・ふじさわネットは、2022年1月29日(土)、藤沢市役所市民利用会議室で学習会と第14回総会をおこないました。

総会では、2021年度の活動報告と総括(教科書採択替え、オリンピックパラリンピックの子ども動員、「学校適正規模・適正配置基本方針(素案)」についてのパブリックコメントのとりくみなど)、会計報告と会計監査報告に続き、2022年度の活動方針や役員人事を審議し、決定しました。

方針では、①要求で一致できる諸団体、議員と連携しゆきとどいた教育を実現するために運動する、②教科書の内容についての政治介入を許さない運動を継続。教科書採択の透明性、公開制を更に進め現場の意向が尊重される採択を進める、③地域住民や現場の先生方の意向、子どもの声を尊重して、大規模校の課題解決、統廃合の問題にとりくむ。学校適正規模・適正配置検討委員会の傍聴を続け、市民の声を届け、課題解決を働きかける、④教育委員会の傍聴と懇談を継続し、教育をめぐる諸問題の解決に向け、協力関係、信頼関係をつくる、などを決定しました。



学習会 夜間中学校

総会の前学習会では、映画「こんばんはⅡ」を鑑賞し、感想・意見交換を行いました。

夜間中学には、おもにボランティアによる私立と、自治体による公立があります。公立の夜間中学校は、神奈川県では、横浜市、川崎市、相模原市(今年4月開校)にあります。



文部科学省資料から：夜間中学も昼間の中学校と同じ公立の中学校です

- 毎日授業があります、週5日間
- 昼間の中学校と同じ教科を勉強します
- 教員免許を持っている公立中学校の先生が教えてくれます
- 全ての課程を修了すれば中学校卒業となります

こんばんはⅡ

監督：森 康行(「こんばんは」第77回キネマ旬報文化映画ベストワン第一位)

ナレーター：大竹しのぶ

私たちの学校は「こんばんは」から始まります。いつでも、だれでも入学できます。



参加者の感想から

◎映画に出てくる方たちの顔がキラキラ輝いているのが印象的でした。学ぶ喜び、学校に行くことで未来が広がる、学ぶ権利はうばわれてはいけない大切な権利ですね。夜間中学(自主運営している所も)への補助を手厚くしてほしい、学びたいと思った時に受け入れてくれる場所があってほしいと思いました。

◎「学校」は読み書きを覚えるだけの場ではないとあらためて思いました。「学校」という場が必要なのだと思います。そんな中、GIGA スクールなどという構想もあり、いったいどうなっていくのだろうと心配です。

私も現役のころ、「形式卒業」させた子がけっこういるので、その人たちがその後どうなったかを考えるとつらいです。

◎知りませんでした、「夜間中学」のこと。中学校は憲法で規定されている(第26条)義務教育の一つ。国はしっかり制度・法律を憲法の理念に基づいて制定し、数多くの夜間中学校を設置すべきと考える。日本人だけでなく外国から来ている人たちにも門戸を拓けて欲しい。一般の人は殆ど知らない、私も…

教育委員会定例会で大きな変化

— 短時間で終わっていた会議が 少しずつ審議する場に —

毎回、教育委員会定例会は、傍聴していますが、議題は決定案件の承認、非公開案件もあり、市議会子ども文教常任委員会の報告なども数分でした。市民の傍聴をあまりにも軽視した状況のように思えました。(口頭で要望もした)

10月、教育ネットは教育長と4人の教育委員に、「教育委員は定例会で教育案件を審議して、それが傍聴者にわかるようにしてほしい。」と要望書を提出しました。

12月の定例会では大きな変化がありました。それまであまり発言がなかったのですが、はっきりわかる質疑や意見交換があり、全員が発言したのです。

休業日の変更の件については、「暦どおりだと学校の準備ができないのは明確であり、当然のことだ」、教員の懲戒処分については、「子どもたちはどう判断して行動したのか」「学校の今後の取り組みは」「ネットリテラシーは保護者としても学んでいかなければ」「事実をつかめたのか」など。教育長は「適正規模検討委員会の基本方針」にふれて、質問。他の委員は「教室には入れない子に着目してください」「教育委員の意見反映は大切だ」など。今年も教育委員が発言し、質問することは確かに増えています。

市民の声を受け止めた教育委員、教育長の真摯な姿勢に感謝します。

審議の対応には違いがあります。傍聴を欠かさず、継続して見守っていかうと思っています。

(持田早苗)

～「従軍慰安婦」「強制連行」教科書書きかえ～

教科書会社のHPに「訂正」が掲載され、教科書がどのように書き換えられたのかが分かります。当会のHPに詳細を掲示します。ご活用ください。

ホームページ <https://mkfnet.com>

学校訪問をしました。

毎年1～2月に学校訪問をし、子ども中心の卒業式・入学式のお願いやその他の要望を懇談しています。今年もコロナ感染を考慮して無理のない範囲での懇談をお願いしました。その代わり学校の雰囲気を見てこようと提案しました。また、懇談の内容も①コロナ禍での困りごと②生理用品をトイレに常備してほしい③地域に住む私たちにできることは何かを中心にしました。

大規模校問題は子どもの学びを第一に取り組んでほしいことを伝えました。コロナ禍での先生方の忙しさは予想以上でした。体調を崩しても代替えの先生がおらず、管理職の先生がクラスに入り授業をしている。今回の訪問でも授業中でお会いできない管理職の先生もいました。コロナ消毒作業で、放課後の教材準備ができない。タブレット使用は子どもとの向き合う時間が少なく不安など、深刻でした。また、児童数の増加で学校付近の交通安全も心配とのことでした。

コロナ禍で玄関先での懇談が多かったのですが、例年訪問している今年もよろしくという感じの先生もいました。

ぜひ懇談の内容をまとめて市教育委員会と懇談を計画したいと思っています。

(新婦人 小柳 倫子)

普通教室の不足で特別教室がなくなる！

辻堂小学校便り(2022年1月31日)から：図工室を普通教室にする転用工事がはじまりました。児童数の増加にともない、教室を確保するため、2月～3月末にかけて図工室を普通教室に転用する工事を行います。

大鋸小学校便り(2021年4月)から：大鋸小学校では、学級増に伴い、今年度も図工室等特別教室を普通教室として使用します。9月に向けて、校庭にプレハブ教室を建設します。

~~~~~

学校の規模が大きくなり子どもたちが学ぶ環境が悪くなる状況が進んでいます。藤沢市の大きな問題です。

## みんなの教育・ふじさわネット学習会

日時：2022年7月23日(土)午後1時30分から

会場：藤沢市民会館 第2展示ホール

講師：佐藤隆さん(都留文科大学)

講師の佐藤隆さんは、昨年、雑誌「世界」4月号に、「個別最適な学び」の何が問題か——ICTがもたらす教育の危機」を書き、GIGAスクール構想の問題点を指摘しています。また、かつて、藤沢で、フィンランドの教育について話していただきましたが、その後毎年フィンランドに出かけて向こうの研究者たちとも交流を続けています。 ※詳細は検討中です。もしばらくお待ちください。